

片頭痛

適切な薬で解消へ



わが国では慢性的な頭痛に悩む「頭痛持ち」の人は、成人の3人に1人、片頭痛患者は約840万人いると言われています。そのうち約70%は医療機関を受診しておらず、約50%は市販薬で対処しています。

頭痛に対する世間の認識は低いですが、立派な病気です。頭が痛いと勉強がはかられない、仕事に支障をきたす、日常生活が楽しめないなどの不安や不満が生じます。月に数回の頭痛であれば我慢できますが、10日以上も頭が痛いと鬱々^{うつ}くなってしまいます。この状態になると頭痛薬を飲み過ぎて、もともとの片頭痛に薬物乱用頭痛(頭

痛薬を月に10日以上も服用している人は注意)が加わってしまいます。そうなるとますます手ごわくなります。

片頭痛の治療薬は、①アセトアミノフェン(主として小児、妊娠中もしくは授乳中の女性に処方)、②非ステロイド系消炎鎮痛剤(ロキソプロフェンなど)、③トリプタン製剤(片頭痛専用の薬)などがあります。①と②を試したことのある人は多いですが、③の存在を知らない人もいます。③には5種類ありますが、どれが強い弱いではなく、あくまでも

患者と薬との相性であり、効果も異なります。全てのトリプタン製剤が有効の患者もいれば、全て無効という患者も存在します。

頭痛専門医による正しい診断、適切な頭痛薬や予防薬(片頭痛の頻度を減らし、程度を軽くする)の処方により、日常生活はガラッと変わります。「頭痛に悩んでいたあの頃が懐かしい!」と思える日が訪れるよう協力できれば幸いです。

協力/群馬県医師会

◆ 片頭痛の特徴

① 頭痛が4~72時間(小児は1時間~)続く
(薬を飲まない、薬が効かない場合)



② 下記の4項目のうち2項目を満たす

- ・頭部の片側が痛い
- ・頭部がズキズキする
- ・日常生活に支障がある(きつい、寝込む)
- ・歩行や階段昇降などで頭痛がひどくなる
(これらの動作を避ける)



③ 下記の2項目のうち1項目を満たす

- ・吐き気がする、吐く
- ・暗い方がいい、静かな方がいい

④ 器質的な疾患がない
(脳CTやMRIで異常がない)